

平成 27 年度

## (言語聴覚学科) 入学試験問題

### 教養 (国語・数学)

試験時間 11：00～12：00

#### (注意)

- 1 係員の指示があるまで、問題用紙及び解答用紙に触れないで下さい。
- 2 問題は 2 頁～18 頁に印刷されています。
- 3 解答用紙に氏名、受験番号及び受験科目名を記入して下さい。
- 4 解答方法は次のとおりです。

例 [1] 埼玉県の県庁所在地として、正しいのはどれか。

- ① 前橋市 ② 甲府市 ③ さいたま市 ④ 横浜市 ⑤ 千葉市

[2] 次の計算をせよ。

(1)  $1+3=$   (2)  $10+2=$

[1] の正答は「③ さいたま市」ですから解答用紙の解答番号 1 の横に並んでいるマーク欄の中の「③」を鉛筆またはシャープペンシルで「●」のように塗りつぶして下さい。

[2] の(1)の正答は  $1+3=4$  ですから解答用紙の解答番号 2 の横に並んでいるマーク欄の中の「④」を鉛筆またはシャープペンシルで「●」のように塗りつぶして下さい。

(2)の正答は  $10+2=12$  ですから解答用紙の解答番号 3 の横に並んでいるマーク欄は「①」を、解答番号 4 の横に並んでいるマーク欄は「②」を鉛筆またはシャープペンシルで「●」のように塗りつぶして下さい。

5 机の上には鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、時計（計算機能のついていないものに限る）、受験票以外は置かないで下さい。

6 受験票は番号札の手前に置いて下さい。

7 マスクを着用している者は、試験官が本人を確認する間、マスクを外して下さい。

8 ハンカチ、ティッシュペーパーを使用する者は、静かに挙手をして、係員の指示に従って下さい。

9 試験中に気分が悪くなったり、トイレへ行きたくなった者は静かに挙手をして、係員の指示に従って下さい。

10 試験問題に関する質問は一切受け付けません。

11 中途で退室する者は、解答用紙を机の上に置き、静かに挙手をして、係員の指示に従って退出して下さい。ただし、試験開始後 30 分間及び試験終了前 10 分間の退出は認められません。

12 試験終了後、試験問題は持ち帰って結構です。

## 国語

[1] 次の各間に答えよ。 1 ~ 5

問1 次の各文のカタカナを漢字に直した時に、問題文の下線部と同じ漢字を用いるものを①～⑤のうちから1つ選べ。 1

対抗する勢力のキンコウを保つ。

- ① 文章をスイコウする。
- ② 制度をコウチクする。
- ③ 会社のコウリョウを発表する。
- ④ ドリョウコウを統一する。
- ⑤ 地場産業をシンコウする。

問2 次の意味を持つことわざを、①～⑤のうちから1つ選べ。 2

「物事を完璧なものとするための最後の仕上げ」

- ① 捲土重来
- ② 画竜点睛
- ③ 順風満帆
- ④ 山紫水明
- ⑤ 金科玉条

問3 次の文章の下線部のうち、謙譲語であるものを、①～⑤のうちから1つ選べ。

3

- ① あの人がくださった絵を大切に保管している。
- ② そんなに卑下ななさることはないのよ。
- ③ ご覧になった茶碗は安土桃山時代のものです。
- ④ 先生にお目にかかったときには感動のあまり涙が流れた。
- ⑤ もうそろそろ来賓が見えるはずです。

問4 次の語句の意味に最も近い意味を持つ慣用句を、①～⑤のうちから1つ選べ。

4

「傍観」

- ① 手をこまねく
- ② 手を通す
- ③ 手を広げる
- ④ 手を焼く
- ⑤ 手を打つ

問5 次の①～⑤の下線部の語のなかで、形容動詞であるものを、①～⑤のうちから1つ選べ。 5

- ① 何とか飲めるような年齢になった。
- ② その葡萄には種がある。
- ③ 冬の山の冷たさが体を凍えさせた。
- ④ 今回の数学の問題はかなり難しかった。
- ⑤ 静かな街を一人で歩いていく。

〔2〕次の文章を読んで、後の問い合わせに答えよ。〔6〕～〔8〕

---

※ この部分については、著作権上の理由により公開できません。

〔谷川浩司『集中力』より〕

問 1 本文中の空欄（ A ）と（ B ）を補うのに最も適当なものを①～⑤のうちから 1 つ選べ。 [ 6 ] 、 [ 7 ]

( A ) [ 6 ]

- ① 矮小化
- ② 確信
- ③ 軽信
- ④ 相対化
- ⑤ 過信

( B ) [ 7 ]

- ① ねばる
- ② がんばる
- ③ できる
- ④ わかる
- ⑤ すすめる

問 2 本文の内容と合致しているものとして最も適当なものを①～⑤のうちから 1 つ選べ。 [ 8 ]

- ① 現代においてはマニュアルを軽視する風潮が強まっているが、能率的な仕事の運び方のためにはマニュアルは必須である。
- ② 若手棋士が最近頼っている将棋の定跡は、真の強さとは無縁であり、百害あって一利もない以上、今後見切りをつけていくべきだ。
- ③ 成功の確信が得られないときには、十分に再検討してから実行していく慎重さが求められる。
- ④ 自らの力を信じることが、本当の強さにつながり、目標をクリアするまでの新たな考えを生むきっかけになる。
- ⑤ マニュアルというものは、本来、熟練の技や高度な技術を相対化する手段であり、それに従えばそれだけでどんな場面にでも対応できる。

〔3〕次の文章を読んで、後の問い合わせに答えよ。 9

---

※ この部分については、著作権上の理由により公開できません。

〔田辺聖子「文庫日記」より〕

問 本文中の空欄（ A ）～（ E ）のどこかに次の文が入る。これを挿入するのに最も適当な箇所はどれか。①～⑤のうちから 1 つ選べ。  9

しかし敦盛はどちらにしても引っ返すプライドを選んだのです。

- ① ( A )
- ② ( B )
- ③ ( C )
- ④ ( D )
- ⑤ ( E )

〔4〕次の文章を読んで、後の問い合わせに答えよ。〔10〕～〔12〕

※ この部分については、著作権上の理由により公開できません。

〔内田義彦『読書と社会科学』より〕

問1 本文中の空欄( A )を補うのに最も適当なものを①～⑤のうちから1つ選べ。

〔10〕

- ① 便利な手段
- ② 肝腎な方法
- ③ 役立たぬ空語
- ④ 有用な仕組み
- ⑤ 不正な振る舞い

問 2 本文中の空欄( B )を補うのに最も適当なものを①～⑤のうちから 1つ選べ。

11

- ① 信するところがあつて初めて
- ② 疑い深い読みがあつて初めて
- ③ 踏み込んだ読みがあつて初めて
- ④ 疑いを創造に生かして初めて
- ⑤ 明快な読みがあつて初めて

問 3 本文の内容と合致しているものとして最も適当なものを①～⑤のうちから 1つ選べ。 12

- ① 古典の読みに関しては、内容に対する疑いの姿勢を介在させる必要はない。
- ② 真に学問を創造する人にとって、疑いの姿勢は百害あって一利もない。
- ③ 学問的創造の現場において、有用性をもつのは疑いの精神だけである。
- ④ 古典は疑い深く本文と格闘しながら読むことで、その真髓がつかめる。
- ⑤ 対象に対する信の念こそが、疑いを学問的創造に昇華するのである。

[5] 次の文章を読んで、後の問い合わせに答えよ。 13 ~ 15

---

※ この部分については、著作権上の理由により公開できません。

〔柳澤桂子『生命の奇跡 DNA から私へ』より〕

問1 本文中の空欄( A )を補うのに最も適当なものを①~⑤のうちから1つ選べ。

13

- ① 細胞が分裂する三八週
- ② 画期的な成長
- ③ 生命の進化の過程
- ④ 人格形成の端緒
- ⑤ 過去から未来への過程

問2 本文中の空欄( B )を補うのに最も適当なものを①～⑤のうちから1つ選べ。

14

- ① だから
- ② しかし
- ③ けれども
- ④ もしくは
- ⑤ また

問3 本文中の空欄( C )を補うのに最も適当なものを①～⑤のうちから1つ選べ。

15

- ① 順々に
- ② おなじ方法で
- ③ 不器用に
- ④ おきまりの方法で
- ⑤ 一足飛びに

[6] 次の文章の（ ）のなかに A～E を並べ替えて入れ、文意  
が適切につながる文章にする場合、最も妥当なものはどれか。 16

※ この部分については、著作権上の理由により公開できません。

〔養老孟司『続・涼しい脳味噌』より〕

※ この部分については、著作権上の理由により公開できません。

- ① B—A—C—E—D
- ② B—A—C—D—E
- ③ D—E—A—B—C
- ④ D—C—E—A—B
- ⑤ E—D—A—C—B

# 数学

[1] 次の計算をせよ。

$$(1) \quad 0.3 \div \frac{9}{10} - \frac{1}{3} \times 0.75 = \boxed{\begin{array}{|c|}\hline 17 \\ \hline\end{array}} \quad \boxed{\begin{array}{|c|c|}\hline 18 & 19 \\ \hline\end{array}}$$

$$(2) \quad \frac{\sqrt{2}+1}{\sqrt{2}-1} + \frac{\sqrt{2}-1}{\sqrt{2}+1} = \boxed{20}$$

[2]  $3\log_2 \frac{\sqrt{2}}{3} + \log_2 \frac{9}{4} - \log_2 \frac{2}{3\sqrt{2}}$  を整理すると、 $- \boxed{21}$  となる。

[3]  $\log_4 32$ 、 $\frac{3}{2} \log_{\sqrt{2}} 4$ 、 $\frac{4}{3} \log_9 27$  を不等号>を用いて、左側が大きな値になるように並べると、 $\boxed{22}$  となる。 $\boxed{22}$  にあてはまるものを、①～⑥のうちから 1 つ選べ。

①  $\log_4 32 > \frac{3}{2} \log_{\sqrt{2}} 4 > \frac{4}{3} \log_9 27$

②  $\log_4 32 > \frac{4}{3} \log_9 27 > \frac{3}{2} \log_{\sqrt{2}} 4$

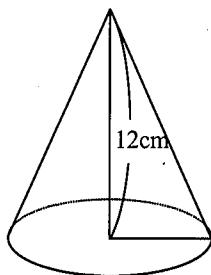
③  $\frac{3}{2} \log_{\sqrt{2}} 4 > \log_4 32 > \frac{4}{3} \log_9 27$

④  $\frac{3}{2} \log_{\sqrt{2}} 4 > \frac{4}{3} \log_9 27 > \log_4 32$

⑤  $\frac{4}{3} \log_9 27 > \log_4 32 > \frac{3}{2} \log_{\sqrt{2}} 4$

⑥  $\frac{4}{3} \log_9 27 > \frac{3}{2} \log_{\sqrt{2}} 4 > \log_4 32$

[4] 図のような、高さが 12cm の円すいの体積を測ったところ、 $100\pi\text{cm}^3$  であった。この円すいの底面の半径の長さは 23 cm である。



[5]  $0^\circ \leq \theta \leq 90^\circ$  のとき、 $\tan \theta = 2$  とする。このとき、 $\sin \theta \cos \theta = \frac{\boxed{24}}{\boxed{25}}$  である。

[6] 1~5 の数字が 1 つずつ書かれたカードが 5 枚ある。この中から 3 枚のカードを順番に並べて 3 けたの数をつくるとき、偶数ができる場合の数は 26 27 通りである。

[7] 濃度 3% の食塩水 200g に、濃度 12% の食塩水をある量混ぜたところ、濃度 9% の食塩水ができた。このとき、濃度 12% の食塩水を混ぜた量は 28 29 30 g である。

[8] 旅行を計画し、宿泊費と交通費で 116,000 円の予算をたてた。実際に旅行に行ってみると、連泊をしたために宿泊費は 7% の割引があり、交通費は規制などの影響により 21% 余分にかかったところ、出費は当初の予算よりも 7,000 円多くなった。この旅行でかかった宿泊費は 31 32 33 34 35 円である。

[9] A君は20km離れた甲町と乙町を往復した。行きは時速10km、帰りは時速15kmで往復したときの平均時速は 36 37 kmである。

[10] あるクラスで5人の生徒A～Eの身長を測ったところ、以下の表のようになつた。このとき、次の(1)、(2)に答えよ。

A	B	C	D	E
175 cm	158 cm	168 cm	189 cm	170 cm

(1) n個のデータ  $x_1, x_2, \dots, x_n$  があるとき、  $\bar{x} = \frac{1}{n} \sum_{i=1}^n x_i = \frac{1}{n} (x_1 + x_2 + \dots + x_n)$  を平均という。

与えられた5人の身長について平均を求める 38 39 40 cmとなる。

(2) n個のデータ  $x_1, x_2, \dots, x_n$  があるとき、  $\frac{1}{n} \sum_{i=1}^n (x_i - \bar{x})^2$  を分散という。(1)で求めた平均の

値を用いて与えられた5人の身長について分散を求める 41 42 43 444 となる。た

だし、  $\sum_{i=1}^n x_i^2 = x_1^2 + x_2^2 + \dots + x_n^2$  である。

言語聽覚学科 教養(国語・数学) 正答

問題番号		正答	問題番号		正答
(1)	1	4	No. 1 (1)	17	1
	2	2		18	1
	3	4		19	2
	4	1	(2)	20	6
	5	5	No. 2	21	1
(2)	6	5	No. 3	22	3
	7	3	No. 4	23	5
	8	4	No. 5	24	2
(3)	9	4		25	5
(4)	10	3	No. 6	26	2
	11	1		27	4
	12	5	No. 7	28	4
(5)	13	3		29	0
	14	1		30	0
	15	5	No. 8	31	5
(6)	16	2		32	7
				33	6
				34	6
				35	0
			No. 9	36	1
				37	2
			No. 10 (1)	38	1
				39	7
				40	2
			(2)	41	1
				42	0
				43	2
				44	8